



# 燦々と燃ゆる陽



本別高校HP QRコード

## 本別高校創立80周年記念式典を終える

令和4年10月2日(日)10時から、本校体育館で、創立80周年記念式典を開催しました。約160名出席者がありました。



学校長式辞、方川一郎協賛会長の挨拶後、北海道教育委員渡辺一人様、本別町長佐々木基裕様から祝辞をいただきました。本校の教育活動への功績あった歴代校長・PTA会長、吉井誠様、清流会様に感謝状が送られ、代表して布施ゆかり様にご挨拶いただきました。式典終了後、廣瀬生徒会長の挨拶、生徒による本高の歴史を紐解くプレゼン、この日のために作詞・作曲した本別高校賛歌「ここで永遠に」を披露しました。



本別高校賛歌「ここで永遠に」

どこまでも青い空 桜の花が咲く頃  
このまなびやで 君と出会った  
ここから始まる きらめきへの旅  
笑顔あふれる日々が やさしさに包まれる

この町で人とふれあい この町に育てられ  
新しい明日が ぼくらを待っている

満天の星空 小栗色の風  
このまなびやで 日々を重ねた  
ここで始めた 夢へのチャレンジ  
見えない糸で結ばれたぼくら

この町で人とふれあい この町に育てられ  
きらめく未来が ぼくらを待っている

この町で人とふれあい この町に育てられ  
あたたかな思い出が ぼくらを待っている

時は流れても まなびやとわに

創立80周年記念式典(2022年10月2日)に披露した『ここで永遠に』は、2次元バーコードを読み取って、本別高校のYouTubeチャンネルでお聴きください。

## 《紹介》本別高校賛歌「ここで永遠(とわ)に」

創立80周年式典に向け、在校生から歌詞フレーズを募集し、小林教頭・佐々木教諭が作詞、河西教諭が作曲した。本別高校で生徒が地域とふれあう教育活動を通して、多様な価値観を育み、成長していく姿や地域や母校への愛着を奏でるものとなっている。

## 感謝状受賞者・記念事業協賛会役員 / 創立80周年記念誌・お花



## 記念事業協賛会役員の皆様から本高へのメッセージをいただきました

- 創立80周年事業が無事に終了しました事に感謝申し上げます。今後は100周年に向け、在校生諸君はじめ、入学してくる生徒の皆さんに期待します。ガンバレ本高生！（方川一郎 様）
- 創立80周年記念当日の皆さんの活躍は素晴らしかったです。今後も本校の開校80周年の重みを感じながら前に進んでいただくことを期待します（中山博志 様）
- 私と娘の母校である本別高校。無事に80周年に立ち会えた事は大変嬉しく、感慨い深いものがあります。式典の際の在校生の歌声にはとても感動しました。「輝け本別高校」！！（荒井恵美子 様）
- 式典での全校合唱「ここで永遠に」素晴らしかった。うるっと来ました。町民の熱意で設立され80年。本別の歴史とともにあるわれらの母校です。学校があること、ともに学んだ仲間がいること、教えてくださった師がいることに感謝します。（田野美紀 様）

●スライドショーでは本別高校の歴史の変遷を感じることができ楽しく観ておりました。準備お疲れ様でした。合唱は大変感動しました。記念として残る素晴らしい歌でした。この先創立100周年を迎えたときに本別高校の素晴らしさが受け継がれていますよう皆さんで歴史を紡いでいってほしいと思います。(北山敦裕 様)

## 令和4年11月24日(木) 創立80周年記念事業協賛会 解散総会

11月24日(木)18:30から、本校会議室で記念事業協賛会の解散総会が行われました。方川一郎会長から、記念式典への高い評価、事務局と協賛会役員の方々への感謝、さらに、今後の本別高校の発展への期待の言葉もいただきました。

創立80周年記念事業は数年前から、近藤浩文 氏(前校長)と沼澤圭亮 氏(前教頭)の時代から検討や準備をしていただきました。同窓会や清流会をはじめ、関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。

## 本別高校 創立80周年記念式典における学校長式辞

秋の深まりが感じられる今日の佳き日、北海道本別高等学校 創立八十周年記念式典を迎えることができました。本日、北海道教育委員会委員渡辺一人 様、本別町長佐々木基裕様をはじめ、多くのご来賓、並びに同窓会、保護者の皆様のご臨席を賜り、心より厚くお礼を申し上げます。

本校は、昭和十七年、町の発展を願う地域の厚い想いにより、本別町立本別中学校として開校、昭和二十三年の学制改革により北海道立本別高等学校と改称、定時制農業科、全日制商業科、通信制協力校なども設置され、地域の高校教育の拠点となりました。その間、昭和二十一年 本別空襲での校舎被爆による教頭殉職、昭和三十八年火災による校舎の焼失、その後、定時制や商業科の閉科と、最大7クラスあった間口は、ふるさと銀河線の廃止や少子化などにより、平成二十一年普通科2間口、今年度1間口と、幾多の変遷や苦難を乗り越えて参りました。昭和の混乱期にあった先代の学校長は、次のように述べています。「母校はそれを思う者の心に生きている。母校を本気で愛せよ」と。時代の変化に対応してきた先人の苦勞を偲びながら、数多くの方々の教育に対する熱情を伺い知るとき、無限の時の流れの中にある先人の意志や文化の継承、地域の人材育成を担う高校教育の役割など、本校の重要性を改めて認識するところであります。

ここに学び、巣立っていった卒業生は、一万二千名を超え、道内はもとより、全国各地でご活躍していただいております。高い評価を受けております。これもひとえに、歴代の諸先生方、先輩生徒諸君のたゆまぬ努力、保護者、同窓生、地域のご支援、ご努力の賜物であります。改めて、深く感謝申し上げます。この諸先輩方が、築かれた輝かしい歴史と伝統をより、一層発展させていくことが私たち教職員に課せられた使命であると考えております。

本校の校訓「創意実践」のもと、令和2年度からは、コミュニティ・スクールを導入し、地域との協働による教育活動を実践しております。特に、「総合的な探究の時間」と「かち創生学」は、郷土愛を育み、地域人材の育成を目指す答えのない探究活動です。これからの社会に求められる資質・能力の育成を目指し、地域や保護者の方々と一緒に連携を図り、教職員が一丸となり邁進していく所存であります。

在校生の皆さん、諸先輩方が営々と築きあげられた本校の歴史と伝統の重みをしっかりと受け止めて下さい。今、まさに、歴史的な瞬間にいるという幸せと責任を自覚し、今日この日を大きな出発点として、「本高生」としての誇りと自信を持ち、新たな本別高等学校の歴史に向かって、しっかりと歩み続けて下さい。

終わりに当たり、本日、ご臨席の皆様方、並びに創立以来、本校の充実・発展にご尽力いただきました関係各位に対し、改めて深甚なる敬意を表しますとともに、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。式辞といたします。

令和4年10月2日 北海道本別高等学校長 松田素寛

